



北中だより

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校
学校だより
No36
文責 芹川博文
1月17日(金)

更なる 明るく活気に満ちた北中へ

～ 北中生徒会 新旧役員・委員長交代式で託された「バトン」 ～

北中の新旧役員・委員長交代式に並ぶ彼らの背景には、「My color」の字が輝いていました。令和5・6年度北中生徒会は 野満 葉南 会長を中心に最後まで素敵な色どりを見せてくれました。体育大会や菊心祭などの大きな行事の輝きはもちろん、日々の生活の中での自主的な準備や活動は、どの委員会も鮮やかな色を放っていました。特に3年生全体の盛り上がりや、人のために役立とうとする力は、北中全体の活気となると共に、後輩への見本となる道標をつくってくれました。



そして、そのバトンは1, 2年生へ託されます。先輩方の思いや北中の伝統を大切にすると同時に、このメンバーでしかできないオリジナルの風を吹かせてくれるものと期待しています。松永 祐佳 新生徒会長が、就任の挨拶の中で、「明るく活気に満ちた北中に」との思いを語ってくれました。確かにその通りだと共感します。今後も生徒数減少の流れをたどる北中。生徒たちの明るさと活気は、北中にとって不可欠です。

就任式後、他の生徒が教室に戻った後に集合した新生徒会執行部の生徒たち。ホッとした表情と笑顔が印象的でした。これからの彼らの活動で、生徒たち自らが考え、互いに磨き合う更なる新しい北中となることでしょう。

令和6・7年度北中生徒会執行部

会長	松永 祐佳
副会長	岩永 啓志 頼本 大虎
書記	原田 芽 中村 一花
	中村 百花 宮本 音羽
評議委員	前田 藤璃
図書委員	前田 真奈
学習・人権委員	片岡 葉
体育委員	山本 託矢
保健委員	渡邊 千晃
給食委員	城 芽衣咲
環境・美化委員	大坪 麗奈
放送委員	菅野 寧音

「やりたくない」を「楽しい」に逆転

～ 0を1にする 生活習慣を変えるためのヒント その① ～

冬休み明け、生徒たちに「0を1にする 生活習慣バージョンアップ」について話しました。そのための何かのヒントになればと思い、紹介させていただきます。

「やる気スイッチ」が入りやすい人がいます。「楽しみ力」が高い人がいます。それは、見方や考え方を、ほんの少しだけ変えることから始まるかもしれません。テニスプレーヤーの松岡修造さんの本の中から紹介させていただきます。



誰かに「やらされている」勉強はつまらないし、いやなものですよね。でも、たとえば「将来、海外で生活したいから英語を勉強する」とか「ロボットをつくる仕事につきたいから数学を勉強する」というふうに、自分の目標のために、自分が主となって取り組む勉強は、とても楽しいはず。周りからはどんなに大変そうに見えてもね。

その「楽しい」は、グラグラ笑うような「楽しい」とは違って、充実感があるという意味での楽しさ。どんなに困難なことでも、やり通すことができると感じられる。それは自分自身が主体的にやろうとしている、つまりチャレンジしているからです。他人からやらされていることを、僕はチャレンジとは呼びません。自分の目標をもつことで、「やらされている」感覚だったものがチャレンジにチェンジするんです。

勉強の目標というと、「テストで0点をとる」といった目標を立てると思います。それはいいんですが、「親に怒られない点数」「先生にほめられる点数」という理由でそれをめざしているんだとすれば、その場合の目標は、自分自身の目標でも何でもありません。目標は他人からの評価を基準にするのではなく、あくまでも自分自身がどうしたいか、どうなりたいかという「自分中心」で決めるもの。自分中心の目標が生まれた瞬間から、目の前の「やりたくないこと」が、やる意味のある楽しいものに見えてきます。それをキミにもぜひ実感してほしい！

(「修造流・逆転の発想法」松岡修造 より) ※北中図書館にあります